

農村振興局長賞（団体の部）

鳥獣被害に悩む農業者と食肉処理施設との連携により
ジビエ利活用と被害対策推進の両立を実現。

一般社団法人 阿久根市有害鳥獣捕獲協会

（代表者：会長 牧尾 ^{まさつね}正恒）

主な取組

鹿児島県阿久根市

鳥獣被害に悩む農業者と食肉処理施設との効果的な
連携体制を構築し、ジビエに適したわな猟による鳥獣
の捕獲と良質な食肉の供給を積極的に推進。

銃猟中心であった地域の農業者にわな猟の狩猟免許
の取得を働きかけ。

（25年度末：26人→27年12月：47人 わな猟免許取得者数）

農業者と食肉処理施設との緊密な連絡体制を整備す
ることで、捕獲された鳥獣が短時間で搬入される体制
が整えられている。

また、食品衛生責任者の資格取得者を多数確保。

（27年12月：18人）

こうした取組により、市内で捕獲された鳥獣の9割
（全国では1割程度）が施設に搬入され、ジビエとして処理
されるとともに、被害対策も加速化。

（施設設置後、イノシシは約3倍、シカは約10倍に捕獲数が増加）

ジビエの効率的な利活用体制を整備することにより、
被害対策と両立する取組のモデルとして評価される。